



体育科，保健体育科で目指す資質・能力をバランスよく育むためには，「指導と評価の計画」において学習指導要領の指導内容をバランスよく配置することが大切です。さらに，指導内容を関連付けた指導を展開することにより，効果的に三つの資質・能力を育むことができます。

指導内容を関連付けた「指導と評価の計画」の例：小学校第5学年 単元名：器械運動（跳び箱運動）

指導内容／時	1	2	3	4	5	6
知識及び技能	オリエンテーション					
思考力，判断力，表現力等					イ	ウ
学びに向かう力，人間性等				ア		

指導内容をバランスよく配置するために
 学習指導要領解説に示されている内容や例示等を付箋紙に記入するなどした上で，どの時間に何を指導するのかを考えながら配置します。その際，①「思考力・判断力・表現力等」及び「学びに向かう力・人間性等」の指導内容については，マット運動と鉄棒運動においても指導できること，②三つの資質・能力の指導内容については，2年間のまとまりの中で指導できることに配慮し，配置することが必要です。

ア～ウの指導内容 ※新学習指導要領に基づく実践例。「→」は関連付けを示す。

ア：互いの役割を決めて観察し合ったり，教え合ったりするなど，仲間と助け合うこと

イ：自己の能力に適した回転系の基本的な技を安定して行うこと

ウ：自己の能力に適した課題を見付け，解決の仕方を考えたり，課題に応じた練習の場や段階を選んだりすること

本時のねらい（本時6／8）指導内容ウ

自分に合った課題を見付け，解決の仕方考えたり，練習の場や段階を選んだりすることができるようにする。

本時の指導過程の中で，児童が既習の指導内容を生かした活動をしている例（伸膝台上前転に取り組んでいる場面）



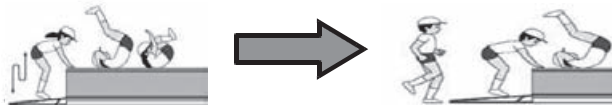
跳び箱の横に落ちるか心配で，強く踏み切れないなあ。

（1）イの指導内容である段階的な練習を活用



そうだ。前の時間の最初にやったように，ソフトマットを使ってみよう。

その場の踏み切りでできたら，次は1歩助走で



（2）アの指導内容である協力する態度を活用

跳ぶときに安心できるように，跳び箱を低くして，みんなで補助したり，教えたりしようよ。



できた。次は今の自分に合っていそうな跳び箱にマットを敷いているところでやってみよう。



このように指導内容を関連付けて意図的・計画的な指導を展開することで，生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成が図られます。